

学校図書ボランティアの活動についてのアンケート

◆構成メンバーはどのような方々ですか。（例：保護者が多い、地域の参加がある等）

保護者の方 17 名、地域の方 8 名
保護者 7 名、地域ボランティア 4 名
保護者 14 名、卒業生の保護者 2 名
保護者、職員、保護者 0 名
保護者（母親）が多い
卒業生の保護者、在校生の保護者
保護者 10 名、地域など 3 名
保護者 14 名、地域の方 9 名
在校生の保護者 3 名、図書ボランティア OG 4 名
保護者、卒業生の保護者、地域の方
元保護者、現保護者、学校司書、地域サポーター

◆メンバーの募集は、どのように行っていますか。

保護者の皆さんには、新 1 年生入学説明会や新年度の配布物と一緒にメンバー募集の案内を配布している。（+知人への声かけなど）
4月中旬に保護者を対象に募集している。
新 1 年生の入学時にチラシを配付している。昨年は、新入生入学説明会の時に直接、手渡しを行った。
年度初めに文書を通して募集を行っている。
募集のお知らせ（プリント）を各家庭に配付する。
新学期に学校長名で保護者へプリントを配布し、募集をかけている。
育友会（PTA）校長両者で全保護者に周知と募集
年度当初に、保護者向けに全世帯へ文書を配付して募集を行っている。
保護者宛の募集プリント配布、直接の勧誘
学校の広報誌に掲載して募集している。
学校から保護者あてに文書で募集、メンバーの声かけ

◆活動で工夫していることや気を付けていることなどを教えてください。

「できる時に、できる範囲で」を合言葉に、無理のない程度で楽しく活動できるよう心掛けている。
・研修会を年に一回、実施している。（本の持ち方、本の選び方、本の読み方など）
・環境整備は定例の日（毎月第 1、第 3 金曜日）また、その日以外にも司書の先生の勤務日に作業しに来ることができるようにしている。（学校に連絡してから）

・子どもたちが、図書室や本を好きになってくれるよう楽しい場所にできるように、季節の変化に合わせた壁画づくりに取り組んでいる。 ・読み聞かせの時は、子どもたちに参加してもらうようなものや、動きのある劇なども取り入れるようにしている。
・児童の実態に合せた読み語りの選書 ・季節に合わせた図書室の飾りや環境整備 ・選図書を達成した児童へしおりのプレゼント
負担にならないよう、ムリをしない。 七夕 夏のきもだめし 12月人権など、子どもたちが、行事、季節を感じられるような催しや活動を行っている。
・図書ボランティア活動を無理なく楽しく続けられるよう、仕事や日常生活で無理しないよう、自分の負担にならないペースでの活動を心がけている。 ・常に子どもたちの目線で、また活動を通して様々なことを子どもたちからも学んでいる。 ・ボランティア活動を通して、人との関わりや研修、行事の開催等々学びの場として、活動への活力を得ている。
図書ボランティアの要望を極力くみ取りながら、連携を図っている。
・定例の活動より、随時の活動が多いので、都合の良い時間に合わせて、できる人ができる範囲で活動していただく。（カバーかけ、蔵書データベースソフトへの登録etc） ・連絡事項がある時は、代表者の方に一括して連絡し、一斉メール等で全員に連絡が行き届くようにしている。
・学校司書が読み聞かせの予定を早めに作成してお知らせし、ボランティアの方々の日程調整を早めに行う。 ・図書館の装飾を作成する際の作業等は、誰にとっても取り組みやすい行程や内容を考える。
・基本はとにかく子どもたちがどうしたら楽しんでくれるか、自分たちも楽しめるか。 ・メンバー各々に得意分野があるので、かたよることなく、皆が参加できる形になるよう心掛けている。
本年度は、コロナの影響があり、集まって活動するのが難しいので、各自 家で壁面飾りを作成したりしている。

◆活動の課題や困っていることなどを教えてください。

・現在はコロナの影響で、子どもたちの前で本を読む活動はできていない。各学校でどのように活動されているのか、これからの方向性等も知りたい。
・withコロナの中、どうしたら「いつもどおり」に近い形で実現できるのか模索している。 ・メンバーの維持、新メンバーの加入は毎年の課題。 ・連絡事項の伝達、各々の答えの回収に少し時間を要してしまう。

コロナで集まらないから今後の活動をどのようにすすめていくか思案中。各学校の取組み等について知りたい。

コロナ禍での今後の新しい生活様式をふまえた活動の方向性を模索している。できることを少しずつ、みんなで協力しながら活動を再開したい。

コロナ禍で、集まっての活動は、当面、自粛中であり、今年度は活動の見通しがたたない。毎年、計画している図書館祭りのボランティア読み聞かせもできるかどうか検討中である。

ボランティアの人数確保。

研修不足、修理等の技術的な知識も乏しい。

- ・ 継続していく難しさ
- ・ 全体を取り仕切るリーダーの選出
- ・ 一緒に集まる日取りが組みにくい。